履歴書

名前・連絡先

名前	笹川 尋翔 (ささがわ ひろと)
連絡先	nagutabby@nagutabby.uk

ポートフォリオ

GitHub	https://github.com/nagutabby
Speaker Deck	https://speakerdeck.com/nagutabby
ブログ	https://blog.nagutabby.uk/

保有資格

年	月	名称
2020	7	ITパスポート試験
2020	10	Python 3 エンジニア認定基礎試験
2021	2	基本情報技術者試験
2021	3	Ruby Association Certified Ruby Programmer Silver version 2.1
2021	8	LE-1: Linux Essentials
2022	6	AWS Certified Cloud Practitioner
2022	8	AWS Certified Solutions Architect – Associate
2023	2	Microsoft Certified: Azure Fundamentals
2023	3	LPIC-1
2023	5	TOEIC L&R 770点

プログラミング言語の使用経験

言語	使用した期間
Python	5年
Ruby	4年
JavaScript	3年
Java	3年
PHP	2年
TypeScript	2年

インターンシップ

株式会社CirKit

参加期間

開始日: 2021年3月1日終了日: 2024年3月31日

概要

SAKITOの開発における貢献を述べる。1つ目は、引換券のペーパーレス化である。これまではSAKITOで入手した引換券をレジで紙の引換券に交換し、さらにその紙の引換券を商品と交換する必要があったが、SAKITOの引換券と商品を直接交換できる機能を追加することでアプリの利便性を向上させた。2つ目は、特典コードの作成・入力機能である。大学近くの自動車学校への入校特典として提供するための特典コードの作成・入力機能を実装し、SAKITOのマネタイズを推進した。3つ目は、システムの保守性向上である。初めにRails 5.0からRails 7.0、Ruby 2.6からRuby 3.2、MySQL 5.7からMySQL 8.0にアップデートした。続いて、ホスティングサービスからlaaS、laaSからPaaSに段階的に移行することでサービスの運用費を削減した。

株式会社Speee

参加期間

開始日: 2024年8月15日終了日: 2024年8月30日

概要

チームを作り、与えられたテーマに沿ったWebアプリを開発した。朝会や夕会では「良かったこと」と「悪かったこと」を整理し、サービスの価値を向上させるための方法を考えて問題に対処した。1スプリント目では、チーム全体が同じ方向を向いて作業できるようにするためにチームの目的を言語化し、実際のユーザーが求めている機能や体験を把握するためにユーザーストーリーを分析し、技術選定を行った。2スプリント目では、サービスが必要とする具体的なデータ項目を特定して開発の焦点を絞るために、サービスで利用されるデータを整理し、アプリのデータ構造を定義した。3スプリント目では、データの一貫性を確保するためにデータソースをデータベースに投入し、バックエンドとフロントエンドを実装した。4スプリント目では、実装段階でのエラーや潜在的な問題を特定して修正するために、コードレビューを行った。

Sansan株式会社

参加期間

■ 開始日: 2024年9月2日■ 終了日: 2024年9月20日

概要

単独で開発チームに加わり、技術調査から実装後の性能調査までの工程を通してWebアプリのパフォーマンス改善に取り組んだ。1スプリント目では、問題の原因を調査し、パフォーマンス改善のための設計を考えた。2スプリント目では、改善策を実装し、さらに改善策の効果や新たな課題を早い時期に発見するために、開発環境での性能調査を行った。3スプリント目では実装した改善策が期待通りに動作することを確認するためにテストケースを作成し、本番環境に近い条件下でパフォーマンスを評価するためにステージング環境での性能調査を行い、リリースに向けてデプロイの設定を行った。

制作物

SAKITO

技術スタック

- フロントエンド
 - Ruby, Ruby on Rails, HTML, CSS, SCSS, JavaScript, jQuery, Bootstrap
- バックエンド
 - Ruby, Ruby on Rails
- インフラ
 - Railway, Docker, CircleCI, Google Workspace, MySQL

概要

金沢工業大学の学生や教員をターゲットにしたアプリである。アンケートに回答することでポイントを 獲得でき、そのポイントを使用してガチャを回せる。ガチャからは大学の学食やコンビニで使える引換 券を入手できる。URL: https://sakito.cirkit.jp/

@連絡網

技術スタック

- フロントエンド
 - Ruby, Ruby on Rails, HTML, CSS, SCSS, JavaScript, Bulma
- バックエンド
 - Ruby, Ruby on Rails
- インフラ
 - Amazon EC2, Amazon S3, Amazon SES, ELB, AWS Certificate Manager, Docker, GitHub Actions, MySQL

概要

石川県内の学校をターゲットにしたアプリである。教員はメーリングリストを管理したり、メールの予約送信機能などを利用して生徒にメールを送信したりできる。URL: https://atren.jp/

nagutabbyの考え事

技術スタック

- フロントエンド
 - Svelte, SvelteKit, HTML, CSS, SCSS, TypeScript, Pico CSS
- バックエンド
 - TypeScript, microCMS
- インフラ
 - Fly.io, Mailtrap, Docker

概要

個人ブログである。余計なデザインを省き、シンプルに仕上げることで記事の読みやすさとアプリの使いやすさを改善した。ビューポートの大きさに応じて取得する画像の大きさを変えたり、アプリの依存関係を減らしたりすることでパフォーマンスを改善した。CDNやService Workerを使うことでレスポンスタイムを削減した。SvelteKitのStreamingを用いることでスムーズな画面遷移を実現した。URL: https://blog.nagutabby.uk/

自己PR

私はCirKitのメンバーとしてシステムの受託開発に3年間携わっており、Webアプリのサーバーサイド・バックエンド・フロントエンドの開発経験がある。CirKitは、メディアの受託制作やシステムの受託開発をしている学内プロジェクトであり株式会社である。

CirKitでは学生がシステムを開発しているため、知識や経験が少なく、同じシステムを長期間に渡り開発していく持続的なシステム開発が苦手である。システム開発の持続性を高めるには、研修体制の強化、研修内容の見直し、技術コミュニティーで現役のITエンジニアと交流することによる、知識のインプットやアウトプットの機会の確保が必要である。

私は、研修期間を6か月から9か月に伸ばすことや、ReactやNext.jsなどの現在主流となっている技術を研修内容に加えることを当時の研修リーダーに提案し、研修の質の向上を図った。また、kanazawa.rbやJAWS-UG金沢という技術コミュニティーに所属し、社内の開発メンバーをそれらの技術コミュニティー主催のイベントに誘うことで、社内の開発メンバーに新しい知識を身に付ける機会を提供した。

一方で、「外部の技術コミュニティーのイベントに参加するのは敷居が高い」と感じるメンバーのために、HackitというCirKit主催の学内ハッカソンの立ち上げを手伝い、Hackitの第1回にメンターとして参加した。